

材料艦装部

伊藤 邦義

2016年入会

工学研究科 マテリアル生産科学専攻

生産科学コース 修了



今までの経歴を教えてください

前職：インフラ関係勤務（5年間）→本会へ転職：材料艦装部（材料・溶接審査部門）（取材時）

現在のお仕事は？

材料・溶接の技術で船舶の屋台骨を支える

私は主に船舶に使用される材料及び溶接技術の審査・承認を担当しています。船舶の構造には主に鋼板等の鉄鋼材料が使用され、それらの材料を組み立てる際には材料同士を溶接技術にて接合しています。したがって、材料や溶接技術は文字通り船舶の屋台骨であり、非常に重要な要素です。それらの安全性を審査し、承認することで船の安全を守るという使命感を持って仕事をしています。具体的には、船舶に使用される鉄鋼材料や溶接材料の安全性を確認するために、材料そのものの検査だけでなく、その製造所における製造工程や品質管理体制を含めた審査をしています。特に新しく開発された材料については、それが船に使用可能であるかどうかについて関係各社様と長期プロジェクトを組み、試験や評価を繰り返して技術的な検討をしています。

材料・溶接の最新技術を通して、新設計船の安全を守る

新設計船舶のプロジェクトに材料・溶接の分野から参加したことが挙げられます。通常、船舶に用いる材料や溶接要領は、弊会が定める規則に従い決定されますが、当該プロジェクトでは適用船が既存の規則にあてはまらない新設計の船舶でしたので、材料の選定にあたっては当該材料が使用される環境等を考慮した各種試験を関係各社様と共に実施し、材料が決定した後はそれらの溶接部の評価を行いました。また国内外の材料製造所と協力し、当該船に適用する材料が、要求されるスペックを満足することを確認し、適用を承認しました。このような業務を通して、最新設計の船舶の建造に関わることにやりがいを感じるとともに、その安全を守るという強い使命感を持って仕事ことができました。

どうしてNKを選んだのですか？

世界を股にかけ、使命感を持って技術で勝負できる

弊会が審査や検査を行う船舶は世界中を航行しており、普段の業務でも海外とやり取りをすることがとても多く、世界を相手に仕事ができることに魅力を感じました。また、船級協会という第三者機関として、世界の船舶の安全、ひいては人命の安全及び海洋環境の安全を守るために大きな使命感を持って仕事ができることも大きな魅力です。弊会はものを造る設備は持っていませんが、船舶に関連する最新の技術に対し、一人一人の技術力をもって技術的なサポートを行っています。このような組織の中で、自らの知識と経験を磨き、それらを武器に仕事ができることにやりがいと達成感を感じています。



就活中の方へメッセージ

私は中途入会ですので転職を検討している方に向けての発信となりますが、弊会は中途採用にも取り組んでおり、中途入会者にも第一線での活躍の場が広がっています。私のように他業界から転入した場合でも、各種研修・実習を通して船級協会や船舶について学ぶことができますので、新卒・既卒に関わらず、船級協会のスケールが大きく、公共性の高い仕事に興味を持たれた方のご連絡をお待ちしております。